

目指す姿
(ビジョン)

“炭火”のごとく誰もが学びの火を灯し続け、 生涯にわたり心豊かに生きられるまち鎌倉

行動指針
(コンセプト)

② 地域の宝物を活かし、 生涯かけて学ぶ機会をつくる

- ・ 地域と学校の連携推進
- ・ 生涯学習・体験学習の機会充実
- ・ 歴史・文化の保存・継承・活用



① ワクワクする未来を創る 学びを生み出す

- ・ 新たな時代に対応した学びの実現
- ・ デジタル技術による学びの転換
- ・ “学習者中心の学び”への挑戦支援



“学習者中心の学び”



③ 多様性を尊重した学びで 共生社会を共創する

- ・ 子供たちの学びの多様化推進
- ・ インクルーシブ教育の実現
- ・ 子育て・子育ての環境整備



④ 学習者中心の学びを支える環境を整備する

・ 学校の指導・運営体制の充実

・ 安心安全で豊かな学校教育環境の整備

・ 地域における生涯学習基盤の整備



報告事項Ⅰ 定例市議会における図書館関連質問について

1 鎌倉市議会 12 月定例会（令和6年12月4日から12月23日まで）

(1) 一般質問

ア 高野洋一議員（12月6日）

質問

令和6年度第1回鎌倉市図書館協議会において、本庁舎現在地における中央図書館の整備を含め、図書館の施設整備について協議事項として取り扱われることになったが、この間、どのような協議が行われているのか。また、協議内容の本庁舎の移転計画への反映について、教育委員会としてはどのように考えているのか。

答弁（教育文化財部長）

鎌倉市図書館協議会においては、令和5年11月以降、これまで5回にわたり、新図書館に求められる機能や運営等の視点で協議を行ってきた。具体的には、鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画、電子書籍、読書バリアフリー、子どもへのサービス、新図書館に必要とされる機能などのテーマについて委員間で継続的な協議を行っている。

これを受け、中央図書館では、鎌倉市新庁舎等整備基本計画の策定後、新深沢図書館で必要な機能や共用スペースの活用について、利用者からの意見も参考にしながら、より充実したものとなるよう、職員間で協議を行っている。引き続き市長部局と連携をしながら、深沢図書館に導入する機能等、基本設計を進める中で検討していきたい。

質問

昨年度から入れると5回だという答弁があったが、年度内に、図書館協議会として、市長部局側に何らかの意見具申を出される予定であるという認識でよいか。

答弁（教育文化財部長）

協議事項ということで、答申や意見書を出すまでというのは考えていない。

質問

では、市側にどうやって示すのか。

答弁（教育文化財部長）

図書館協議会へは今後の鎌倉の図書館の望ましい在り方について諮問を行い、そこで答申等を得ていきたいと考えている。

質問

11月に行われた第3回の図書館協議会では、さらに諮問することになったと触れられたが、これは計画との関係でどういう意味合いなのか。諮問というのは何を諮問するのか。

答弁（教育文化財部長）

諮問はこれからだが、新図書館に求める機能や運営の視点で、継続的に協議を進めている。今後、デジタル化など図書館を取り巻く環境は大いに変わっていくことが考えられることから、図書館の運営体制の全般に関わるもの、これからの図書館の望ましい在り方について、今後、図書館協議会に諮問する予定である。

質問

今まで協議してきたのは、新庁舎の整備、そこに複合整備するとしている新図書館についての内容、諮問するのはさらにそこから地域館の在り方、サービス計画には記載されている今後の図書館のより広い、深い在り方も含めて諮問をするという理解でよろしいか。

答弁（教育文化財部長）

御指摘のとおりだと思っている。

イ 森功一議員（12月9日）

質問

中央図書館の機能について、現在地（市役所跡地）にどのように整備する方針か確認したい。

答弁（教育文化財部長）

鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画の作成にあたっては教育委員会や図書館協議会においても協議を行い、新しい図書館としての考え方が反映されたものになっていると考えている。利用者から図書館に対しては、静かに本が読める静読室、子どもや青少年の居場所、バリアフリー化など、様々な

ニーズが寄せられており、現在地に整備される予定の施設では、図書館の部分だけではなく、共用部分を活用することで、多様な要望に応えられる施設にすることができると考えている。引き続き市長部局と連携を図りながら、誰もが気軽に活用でき、集い、学び、つながることができるような魅力的な図書館の検討を進め、基本設計に反映されるよう、調整をしてまいりたい。

(2) 教育福祉常任委員会（12 月 12 日）

図書館に関する案件はなし。

2 鎌倉市議会 2 月定例会（令和 7 年 2 月 6 日から開会中）

(1) 一般質問

ア 竹田ゆかり議員（2 月 12 日）

質問

子どもの権利条約第 31 条にある休息及び余暇、遊びや文化的な生活について図書館ではどのように保障しているのか。また、図書館では、資料等の選書にあたってどのように子どもの声を聞いているのか。

答弁（教育文化財部長）

鎌倉市の図書館では、本のリクエストカードや Web、館内の検索機などで、借りたい本や読みたい本についての希望を出してもらっている。資料等の選書では、ここから得た子どもからの希望も判断材料とし、購入につなげているところである。

図書館は子どもの居場所の一つであり、自分の時間を自由に過ごせることを大切にしている。年齢に応じたおはなし会などの場も設けながら、子どもたちの文化的生活に資することも図書館の社会的役割と認識している。

引き続き、読書環境の改善に向け鎌倉市子ども読書活動推進計画を推進するとともに、子どもたちの希望も踏まえた誰もが利用しやすい図書館の実現につなげてまいりたいと考えている。

(2) 代表質問（2 月 19 日～）

ア 神奈川ネットワーク運動・鎌倉

質問

新深沢図書館に関し、中央図書館では 2024 年度にどのような取組を行い、2025 年度には基本設計にどのように関わるのか。

答弁（教育長）

令和6年度は、鎌倉市図書館協議会や図書館職員間での協議、あるいは障害当事者への聞き取りや県委託のバリアフリーアドバイザー等からの助言、先進都市への視察などをもとに、深沢図書館の必要な機能などについて検討を進め、市長部局と共有してきている。

令和7年度においても、新深沢図書館に付随して整備が予定されている共用スペースや静読室、児童コーナーなどについて、子ども読書の拠点としての機能を踏まえたレイアウトを図書館から具体的に提案することなどを通じて、生涯にわたり心豊かに利用できる施設の実現を目指したいと考えている。

質問

市史編さん事業をどのように進めていくのか。

答弁（教育長）

補助執行として、図書館では歴史的公文書の選別を行うとともに、市史編さんの進め方や体制整備について市長部局と協議を進めてきたが、令和7年度についても引き続き、鎌倉市市史編さん委員会の再開に向けた検討など、準備に取り組むこととしている。

新たな市史は、市史編さん委員会が再開されたのちに方向性を決定することになるが、すでに刊行された市史の続編を編さんすることを想定しており、関連資料の収集等では時機を逸することのないよう取り組んでまいりたい。

イ 自民党・無所属の会

質問

働く世代と地域社会の接点が少ないと感じている。学習センターや図書館が働く世代にとっても利用しやすい施設となり、地域社会に呼び込むための魅力的な施設となれば良いと考えるがいかがか。

答弁（教育長）

利用者の中心は高齢者や親子連れであり、働く世代の利用率は低い状況にある。教育大綱で目指す「炭火のごとく生涯にわたって学びの火を灯し続ける」ためにも、働く世代にとっても魅力的な生涯学習施設を目指していく必

要があると考えている。

図書館では、Wi-Fi の設置や、スマートフォンで貸出ができるようにするなど、デジタル化の対応を進め利便性を向上するとともに、3Dプリンタ等を使ったワークショップなど、地域と連携した企画展示により、働く世代への魅力も高めているところである。

また、学習センターでは、「鎌倉学びのプラットフォーム」として、主に20代から40代を対象にした好奇心を形にする企画術を学ぶ連続講座も開催している。今後も働く世代をはじめとする様々な世代にとって魅力的な施設となるよう関係団体等と連携して取り組んでいく。

ウ 銀河鎌倉

質問

展示スペースと発掘調査資料や図書の収蔵庫を兼ねた歴史郷土資料館・図書館・美術館・博物館を融合した鎌倉研究施設を設置していただきたいが、いかがか。

答弁（教育長）

現在、策定を進めている「鎌倉市にふさわしい博物館基本計画」において、鎌倉歴史文化交流館や鎌倉国宝館を中心に既存の文化施設などと連携しながら、より充実した収蔵保管、展示等の活用及び研究環境の確保に向けた検討を進めていく。

(3) 教育福祉常任委員会（2月25日）

図書館に関する質問はなし。

(4) 予算等審査特別委員会（3月10日～）

教育委員会部分 3月11日開催

図書館に関する質問はなし。

第7期鎌倉市図書館情報システムについて

令和7年（2025年）2月26日（水）から新システムで開館しました。

1 スマホを図書館カードとして使えます

- ・ スマホ版図書館ホームページにログインすると、バーコードが表示され、図書館カードとして使えます（スクリーンショット、画像は不可）。
- ・ 現行の図書館カードも引き続き使えます。



2 OPAC（目録検索）が使いやすくなりました

- ・ イラストを使った感覚的に使える画面と、ホームページと同じシンプルな画面を切り替えて使えます。検索画面の文字やボタンが大きくなりました。
- ・ 館内用の検索機でも、ログインしたまま検索したり、利用者のページを見たりすることができます。
- ・ セルフ貸出の画面が新しくなり、利用者の方へのお知らせが表示されるようになりました。
- ・ WEB-OPAC（PC版）では検索結果の一覧画面に図書の表紙画像を表示できるようになりました（一部除く）。

3 ホームページデザインをリニューアルしました

- ・ 閲覧支援ツール「やさしいブラウザ」を搭載し、文字の読上げ、拡大、背景色変更等が簡単にできます。
- ・ ホームページデザイン（特にティーンズ、近代史資料室のページ）を刷新しました。
- ・ 近代史資料室のデジタル化資料の検索機能を強化しました。「条件を指定して探す機能」を追加し、ジャンル、地域、キーワードで検索できます。絵はがき、錦絵など、種別で探すこともできます。



令和7年度（2025年度）図書館休館日程

1 定期休館日（平日の月曜日、祝日月曜の後に最初に到来する平日、年末年始）

令和7年（2025年）

4月7日、14日、21日、28日	4日
5月7日（水）、12日、19日、26日	4日
6月2日、9日、16日、23日、30日	5日
7月7日、14日、22日（火）、28日	4日
8月4日、12日（火）、18日、25日	4日
9月1日、8日、16日（火）、22日、29日	5日
10月6日、14日（火）、20日、27日	4日
11月4日（火）、10日、17日、25日（火）	4日
12月1日、8日、15日、22日	4日

年末年始休館

12月29日（月）から令和8年（2026年）1月3日（土）まで	6日
---------------------------------	----

令和8年（2026年）

1月5日、13日（火）、19日、26日	4日
2月2日、9日、16日、24日（火）	4日
3月2日、9日、16日、23日、30日	5日

計 57日

2 特別整理期間（各図書館年間20日以内）

蔵書点検等のための休館

深沢・玉縄図書館	令和7年5月13日（火）～16日（金）（4日間）
腰越・大船図書館	令和7年5月20日（火）～23日（金）（4日間）
中央図書館	令和7年5月27日（火）～6月1日（日）（6日間）

3 開館日数

中央図書館	302日（うち夜間開館日数：99日）
腰越・深沢・大船・玉縄図書館	304日（うち夜間開館日数：99日）

4 開館時間

中央図書館 9.5 時間× 99 日 = 940.5 時間

8.5 時間×203 日 = 1,725.5 時間

計 2,666.0 時間

腰越・深沢・大船・玉縄図書館 10.25 時間×99 日 = 1014.75 時間

8.5 時間×205 日 = 1,742.50 時間

計 2,757.25 時間

* 参考 令和 6 年度（2024 年度）

開館日数

中央図書館 294 日（うち夜間開館日数：96 日）

腰越・深沢・大船・玉縄図書館 296 日（うち夜間開館日数：96 日）

令和7年度鎌倉市図書館事業予算要求状況

図書館費		令和6年度	令和7年度	増減額	(単位:千円)
		104,113	99,648	-4,465	
報酬		168	168	0	図書館協議会委員報酬
報償費		148	163	15	資料提供者謝礼など 研修講師、手話通訳の謝礼(回数増)
旅費		40	40	0	会計年度任用職員の交通費
需用費		56,579	46,338	-10,241	
	消耗品費	30,863	33,833	2,970	東アジア文化都市連携事業(書籍購入) 物価高騰分増額など
	(うち資料費)	(27,207)	(27,258)	51	資料費:本・雑誌・新聞・視聴覚資料の購入費
	燃料費	38	35	-3	公用車のガソリン代
	印刷製本費	429	116	-313	バーコードラベル作成(隔年で作成)
	光熱水費	7,852	7,310	-542	電気料、上下水道料
	維持修繕料	17,155	4,647	-12,508	中央図書館の各種修繕 照明器具のLED化修繕終了(-13,915)など
	備品修繕料	165	165	0	備品修繕
	車両修繕料	77	232	155	車両修繕費、点検費など
役務費		4,152	4,331	179	
	電信料	2,393	2,491	98	Wi-Fiなど
	運搬料	158	201	43	県との連絡便
	手数料	1,578	1,616	38	建物の維持管理にかかわる各種機械類の点検など
	保険料	23	23	0	中央図書館の建物の保険
委託料		17,564	17,157	-407	設備等保守管理、清掃業務、施設管理の保守点検 巡回搬送業務など 中央図書館Wi-Fi設置委託完了(-693)など
使用料及び賃借料		22,222	26,267	4,045	データベース使用料・新刊マーク 図書館システム更新(+3946)など
工事請負費				0	
備品購入費		330	1,343	1,013	図書館振興基金活用事業 0件 点字用ディスプレイ、返却用ブックポスト等
負担金補助及び交付金		70	110	40	日本図書館協会、神奈川県図書館協会の分担金
積立金		2,840	3,724	884	図書館振興基金、ふるさと寄附金など
公課費		0	7	7	自動車重量税
総務費 文書広報費 市史編さん事業		129	70	-59	歴史的資料(公文書)の保存等に係る消耗品など。 一部、近代史資料担当に関連する部分を図書館管理運営事業に移管。

図書館協議会委員 各位

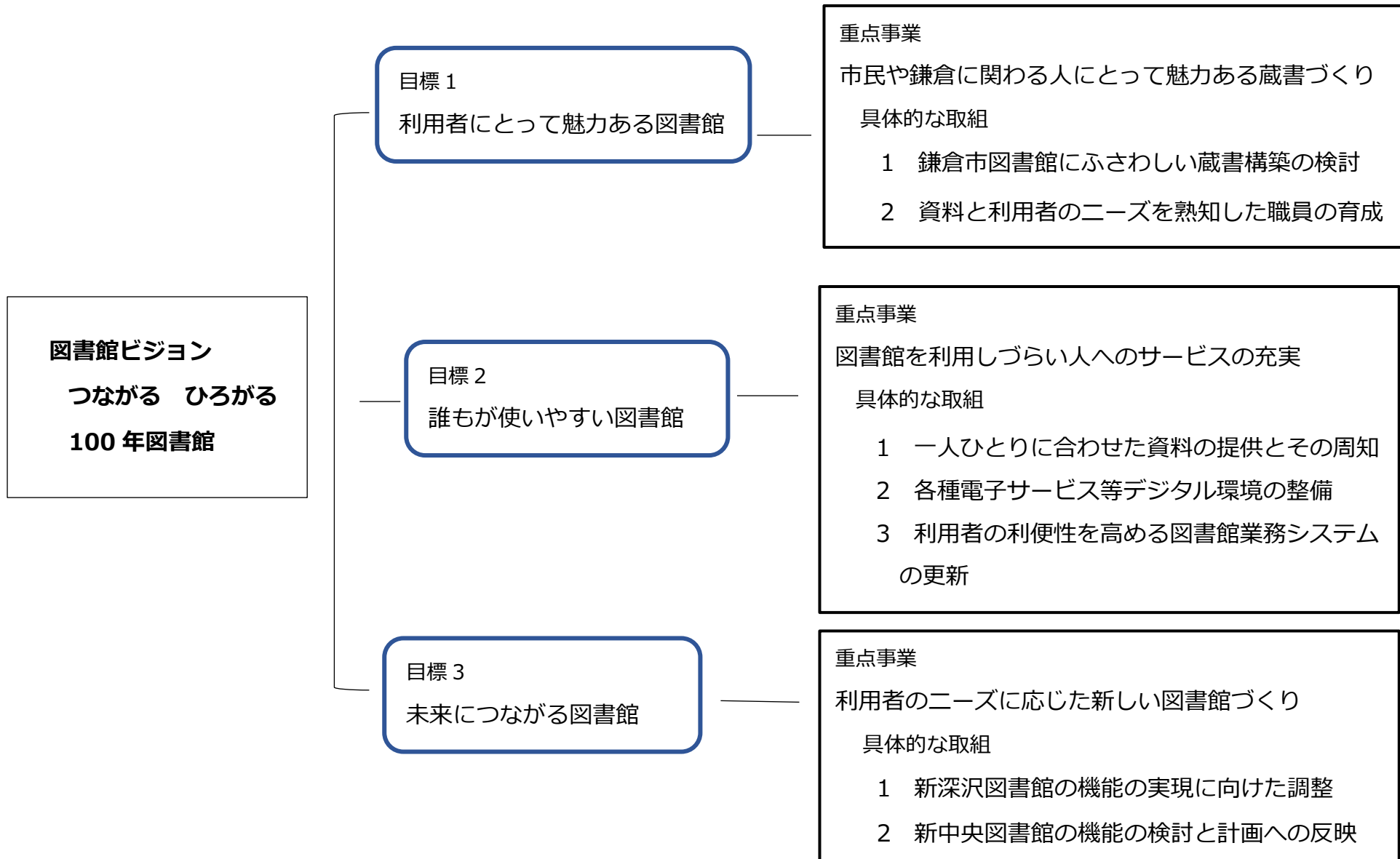
第4次サービス計画の年次評価表です。

- ・統計は2024年12月末日時点の仮数字になります。
- ・表中のA：達成、実施 B：現状維持 C：未達成、未実施 となります。
- ・中身をお目通しいただき、次回の協議会の場で感想や疑問点、改善点などお出しただいて協議いただけますようお願いいたします。
- ・各委員からのコメントにつきましては協議会后改めてメールでいただく予定です。

どうぞよろしくお願いいたします。

第 4 次サービス計画年次評価表

- ・統計は令和 6 年（2024 年）年 12 月末日時点の仮数字になります。年度末に改めて集計する予定です。
- ・表中 A：達成、実施 B：現状維持 C：未達成、未実施 となります。



目標 1 利用者にとって魅力ある図書館

【重点事業】市民や鎌倉にかかわる人にとって魅力ある蔵書づくり

1 鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築の検討

取組 1 現在の蔵書構成及び出版状況を比較分析し、鎌倉市にふさわしい蔵書構築を検討します。

	平成 30 年度 (2018 年度)	令和 5 年 (2023 年 4～12 月)	令和 5 年度 (2023 年度確定値)	令和 6 年 (2024 年 1 月～12 月)	令和 7 年度 (2025 年度)	
指標項目	現状	実績	実績	実績	目標	
年間貸出点数	1,326,000	970,393 前年度 12 月末 1,000,048)	1,298,340	1,288,503	1,400,000	B
蔵書回転率	2.4	1.6	2.0	2.0	2.5	
蔵書新鮮度	0.04	0.03	0.04	0.04	0.04	
蔵書更新率	0.09	0.07	0.08	0.08	0.09	
市民 1 人当たり貸出点数	7.5	5.6	7.1	7.6	8.1	
リクエスト資料の提供数		283,332	375,591	369,743		

	平成 30 年度 (2018 年度)	令和 5 年 (2023 年)	令和 6 年 (2023 年)		令和 7 年度 (2025 年度)	
指標項目	現状	実績	実績	自己評価	目標	
郷土資料受入数		644	947	順調に収集が進んでいると思われる。		A
資料に対する満足度評点／量 ／大人（来館）	3.16					
資料に対する満足度評点／量 ／大人（市民）	2.87					
資料に対する満足度評点査／ 量／子ども（来館）	3.91					
資料に対する満足度評点／量 ／子ども(市民)	4.08					
資料に対する満足度評点／種 類／大人（来館）	3.29					
資料に対する満足度評点／種 類／大人（市民）	2.95					
資料に対する満足度評点／種 類／子ども（来館）	3.65					
資料に対する満足度評点／種 類／子ども（市民）	3.33					

	令和 5 年（2023 年）	令和 6 年（2024 年）		
評価項目	実績	実績	自己評価	
出版状況の分析を行ったか	分野別新刊点数構成比を確認	実施済み	9 門と実用書に次いで購入が多いのは 49 の医学分野、36 の社会学分野、33 の金融分野、29 の地理・地誌分野となる。 一方で蔵書回転率が高いのは、実用書、文学、倫理・道徳、心理学、情報科学、フランス語の順になる。15 は 159 の自己啓発の資料、14 は 147 の超心理学の利用が多いか。情報科学の本をもう少し強化する必要があるかもしれない。	A
年間出版数をどれだけカバーしているか	未実施	令和 2～4 年度の平均カバー率 16.4%		
現在の蔵書分析を行ったか	実施	実施済み		
近隣都市との比較を行ったか	実施	実施済み		
リクエスト傾向の分析を行ったか	実施	実施済み		
購入資料の傾向分析を行ったか	未実施	実施済み		
蔵書回転率の高い分野の分析を行ったか	未実施	実施済み		

令和 6 年度重点事業

令和 6 年度（2024 年度）第 4 回鎌倉市図書館協議会 資料 6

十分類	貸出回数	蔵書数	蔵書回転率		100 分類	蔵書回転率
0	14697	25871	0.57		情報科学(00)	3
1	44326	42971	1.03		心理学(14)	3.1
2	80821	56252	1.44		倫理学・道徳・自己啓発(15)	3.5
3	86706	61601	1.41			
4	80349	33490	2.40		医学・薬学(49)	2.7
5	94187	28817	3.27		実用書(59)	5.3
6	22750	12881	1.77			
7	52255	41349	1.26			
8	12511	7550	1.66		フランス語(85)	3
9	454846	202711	2.24		文学・文庫(91)	3.5

目標 1 利用者にとって魅力ある図書館

【重点事業】市民や鎌倉にかかわる人にとって魅力ある蔵書づくり

2 資料と利用者のニーズを熟知した職員の育成

取組 1 長期的展望に沿った研修計画を策定して、知識やスキルの継承ができるよう、職員の育成を図ります。

	令和 5 年（2023 年）	令和 6 年（2024 年）		
指標項目	実績	実績	自己評価	
レファレンス記録件数	99	113	レファレンスの記録件数が増えているのに、レファレンス協同データベースに登録する件数が減っているのは、記録の精度の違いのため。あとから第三者が読んでもわかる記録を残すように心がけたい。	A
レファレンス協同データベース新規登録件数	63	52		
参考資料増加点数	187	268		

	令和 5 年（2023 年）	令和 6 年（2024 年）		
評価項目	実績	実績	自己評価	
研修計画の策定状況	短期的な研修計画は作成中であるが、長期的な計画は検討中。	対外的な計画ではなく、職員が職歴ごとに必要な研修を把握できる計画を作成し、共有した。	これから活用を進める中で、必要に応じて修正し、職員の成長につながる実効性のある計画にしていきたいと考えている。	A

目標 2 誰もが使いやすい図書館

【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

1 一人一人に合わせた資料の提供とその周知

取組 4 有料宅配サービスを始めとする図書館の様々なサービスを周知できるよう広報を強化します。

	令和 5 年（2023 年）	令和 6 年（2024 年）	
指標項目	実績		自己評価
有料宅配サービス利用数	貸出 11 人 62 点、 返却 11 人 52 点	貸出 11 人 54 点 返却 25 人 86 点	公益財団法人 文字・活字文化推進機構から読書バリアフリー図書体験キットを借用し、読書バリアフリー図書の展示を玉縄図書館や深沢図書館で行った。 地下道ギャラリーや図書館だよりで、読書バリアフリー図書や障害者サービスについて紹介を PR した。 当事者団体、市役所の他課、地域館で制度を紹介された方が障害者サービスに新規登録されており、PR の成果かと考える。 鎌倉支援学校や小さき花の園、障害児活動支援センターへニーズ調査をしに訪問し、制度等の紹介をした。
図書館だより発行数	No.141・No.142 発行 No.143 発行予定	No.143～No.145 発行 No.146 発行予定	
ホームページ閲覧数	全体数のみカウント可 1,100,962→1,462,200 （1～12 月）	1～12 月 1,463,573 微増	
障害者サービス登録者数	81	80	
どのような広報をおこなったか	『福祉の手引き』掲載 鎌倉市図書館ホームページ掲載 5 月 児童福祉週間の展示 9 月 認知症啓発展示 12 月 障害者週間の展示 障害者サービスについてのちらし発行	『福祉の手引き』掲載、鎌倉市図書館ホームページ掲載、図書館だよりでの掲載、障害者サービス登録のちらし発行。 5 月 児童福祉週間の展示 6 月 読書バリアフリー図書の展示（「読書バリアフリー体験セット」） 7 月 地下道ギャラリーでの展示	

A

		9 月 認知症啓発展示、 12 月 障害者週間の展示（鎌倉支援学校の児童の作品）を行った。 また以下のとき、障害者サービスを直接、広報した。鎌倉市子ども読書活動推進計画における連絡会議、障害児の通学や入院施設等へ訪問時（3 施設）、小学校の福祉に関する総合学習、小学生の図書館見学、中学生の職場体験等。	マルチメディアデイジー図書を施設へ貸出した。鎌倉支援学校の児童の制作物を全館で展示へつながった。	
--	--	--	---	--

目標 2 誰もが使いやすい図書館

【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

2 各種電子サービス等デジタル環境の整備

取組 1 タブレットの貸出や Wi-fi の設置など、館内の ICT 環境の整備方法を検討します。

	令和 5 年(2023 年)	令和 6 年（2024 年）		
評価項目	実績	実績	自己評価	
ICT 環境整備に向けて何を行ったか	令和 6 年度（2024 年度）に各館に Wi-Fi を導入することを検討し、館内環境の調査、見積もりを取得した。予算に限りがあり、令和 6 年度予算要求は中央図書館のみにとどまった	令和 6 年（2024 年）6 月に中央図書館で Wi-Fi 環境を整備し、利用者向けサービス提供開始した。 Wi-Fi を利用したリモートワーク、学習利用が増加し、PC 優先席を増設した。 利用者からも地域館での展開に関する要望が出ているが、令和 7 年度予算化は実現できなかった。	中央図書館では若い年代の利用者層が増加した。長年、要望が多かった Wi-Fi を導入できたことの効果は大きかったと考える。多目的室でも利用可能なため、講座や講演会などでも活用することができるようになった。地域館への導入は、行政センター全体での調整も必要になることから、今後の施設整備の中で検討していくこととなると捉えている。	A

3 利用者の利便性を高める図書館業務システムの更新

取組 1 令和 6 年度（2024 年度）に新図書館機能を視野に入れて図書館業務システムを更新し、利便性の向上を図ります。

	令和 5 年（2023 年）	令和 6 年（2024 年）		
評価項目	実績	実績	自己評価	
図書館業務システムの更新内容	令和 6 年度のシステム更新に向けカスタマイズ内容の洗い出し、要件を整理中。 検討中の内容 ・館内の検索機を、子どもやパソコンに不慣れな方でも分かりやすいような画面構成も選べるようにする。 ・スマートフォンにログインすることで貸出カードを表示させ、貸出できるようにする。 ・延滞日数に応じた新規予約受付の停止を実装する。 ・督促メールにタイトル等書誌事項を記載する。	保守の範囲内で可能な改修を行いつつ、令和 7 年（2025 年）2 月 26 日から稼働する新システムに向け、要件の洗い出しと構築を行った。 検討中の内容についてはすべて搭載することとなった。	令和 2 年（2020 年）に導入したシステムで課題となった大きな点は次期システムで解決する見込みとなった。	A

目標 3 未来につながる図書館

【重点事業】利用者のニーズに応じた新しい図書館づくり

取組 3 多様なニーズに応えられる空間の設定（ゾーニング）を検討します。

- 1 新深沢図書館の機能の実現に向けた調整
 - （１）学校との連携、子ども読書活動支援の拠点機能を維持します。
 - （２）市役所と中央図書館及び他の地域館をつなぐ役割を果たします。
 - （４）議会図書室や総務課行政資料コーナーと連携して市民への資料提供に努めます。
 - （５）深沢地域の特色ある資料の収集・保存・活用を継続します。"

	令和 5 年（2023 年）	令和 6 年（2024 年）		
評価項目	実績	実績	自己評価	
どのような調整を行ったか	令和 5 年度は主に新中央図書館機能の調整を行ったため、新深沢図書館の調整については情報収集を中心に行った。	・新深沢図書館の機能および必要面積について協議、図書館の要望を提出。	図書館として必要な機能の要望を協議して整理、まとめて担当部署へ提出した。今後は実現に向けて働きかけていきたい。	A

2 新中央図書館の機能の検討と計画への反映

取組 3 多様なニーズに応えられる空間の設定（ゾーニング）を検討します。

- （1）鎌倉市図書館全体のネットワークを統括する拠点館としての役割をはたします。
- （2）鎌倉の歴史と文化を次の世代につなぐ郷土資料の拠点館とします。
- （4）「鎌倉市にふさわしい博物館基本構想」におけるサテライトとしての図書館資料の更なる充実をはかります。
- （5）鎌倉市図書館全体の資料保存庫としての役割をはたします

	令和 5 年（2023 年）	令和 6 年（2024 年）		
評価項目	実績	実績	自己評価	
どのような調整を行ったか	・オープンデー「ONE DAY PLAYPARK」参加 ・新中央図書館の必要面積検討 ・「皆さんのアイデアをお聞かせください」（鎌倉市図書館整備に向けた意見交換会） 9 月 29 日／1 0 月 8 日／10 月 17 日	情報収集	令和 6 年度は主に新深沢図書館機能の調整を行ったため、新中央図書館の調整については情報収集を中心に行った。	B

目標1 利用者にとって魅力ある図書館

【重点事業】市民や鎌倉に関わる人にとって魅力ある蔵書づくり

1 鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築の検討

取組2 議会図書室や総務課行政資料コーナーと連携しながら、行政資料の網羅的収集を実現します。

令和5年（2023年）			令和6年（2024年）		
指標項目	実績	自己評価	実績	自己評価	
行政資料のタイトル数				何を行政資料とするかでタイトル数が変わってくる。またコンピュータ上で行政資料を抽出できないため、正確な数がわからない。項目としてふさわしくないため、ほかの方法を考えたい。	C
評価項目	実績	自己評価	実績	自己評価	
電子資料の保存法検討	資料保存をした際、電子資料を公開している場合は、URL先をリンク先として保存し、利用者の利便性を図った。ただ、リンク先のURLが変わる場合がある。	電子資料でしか公開していない行政資料がある。各課へ行政資料の収集への協力を依頼する際、紙で印刷した資料を納品してほしい旨を呼びかけていく。	電子資料へのリンクを積極的に進めるとともにリンク切れのチェックを定期的に行った。 新システム更新に向け、電子資料を探しやすくなるよう、ホームページを構築した。	利用者の利便性の向上につとめた。	A

目標 1 利用者にとって魅力ある図書館

【重点事業】市民や鎌倉にかかわる人にとって魅力ある蔵書づくり

1 鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築の検討

取組 3 図書館振興基金の活用を図りながら、鎌倉に関する貴重な資料の収集や、それらを補修し、大切に保存、提供していきます。

評価項目	令和 5 年（2023 年）	令和 6 年（2024 年）		
	実績	実績	自己評価	
振興基金を利用し て収集・補修・保 存したもの	明治期以降写真アルバム整理保存デ ジタル化 31 冊 古絵図鎌倉関係デジタル化 33 点 古絵図鎌倉周辺図デジタル化 31 点 年度内に完成納品予定	写真・映像フィルム等資料劣化防止対 策事業 内容：フィルム劣化対策剤（酢酸ガス 吸着剤）購入と投与／保存容器（中性紙 封筒）購入と資料入替	酢酸ガス吸着剤の投与と通気性や除湿に配慮 した保存環境を整えることで、貴重な資料か ら、今後の急激な劣化を防ぐ手立てとなっ た。	A

目標1 利用者にとって魅力ある図書館

【重点事業】市民や鎌倉にかかわる人にとって魅力ある蔵書づくり

2 資料と利用者のニーズを熟知した職員の育成

取組2 読書バリアフリー法など社会状況の変化に対応できる職員のスキルの向上に努めます。

	令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）		
評価項目	実績	実績	自己評価	
実施・受講した研修内容	・読書バリアフリーに関する書面研修を全職員対象に開催した。 ・認知症サポーター養成講座を全職員対象に開催し、職場として認知症に対する理解を深める機会を持った。 ・読書バリアフリーや社会状況の変化に関する外部研修の受講を促し、以下の研修を受講した。 国立国会図書館みなサーチ説明会、多文化対応力向上講座図書館編、図書館総合展フォーラム「UniLeafの活動について」、障害者サービス担当職員向け講座、読書バリアフリーをすすめるために、デジタルインクルージョン政策の動向と公共図書館の役割	・以下の研修を受講した。 令和5年度神奈川県内公共図書館等障害者サービス実務担当者会議（プレクストークやサピエ図書館の研修）、 令和6年度神奈川県内公共図書館等障害者サービス実務担当者会議の報告（プレクストークやサピエ図書館の研修）、 令和6年度 障害者サービス担当職員向け講座2日間、 日本図書館協会による体験講座、鎌倉市役所主催の障害者差別解消法研修、 特別研修「読書のバリアフリーをすすめるために」（公益財団法人伊藤忠記念財団主催）、 2024年度障害者サービス担当職員養成講座（入門）（日本図書館協会主催）	引き続き積極的に研修の受講を進めることができた。	A

目標 2 誰もが使いやすい図書館

【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

1 一人一人に合わせた資料の提供とその周知

取組 3 やさしい日本語の利用案内や活字の大きな利用案内を作成します。

	令和 5 年（2023 年）	令和 6 年（2024 年）	
評価項目	実績	実績	自己評価
利用案内の作成状況	情報収集及び検討中	・やさしい日本語の利用案内を各館入り口に掲示 ・やさしい日本語の利用案内（リーフレット）の案を作成。 ・図書館アンケートのとき、やさしい日本語版も作成。 ・コミュニケーションボードの設置	海外にルーツがある人へ向けて、やさしい日本語の利用案内を全館に館内掲示をした。 図書館アンケートでも、やさしい日本語版を作成し、アンケートを実施した。やさしい日本語の利用案内は案が作成できており、発行へつなげたい。 コミュニケーションボードを全館のカウンターへ設置し、イラスト等でコミュニケーションをサポートできるようにした。
			A

目標 1 利用者にとって魅力ある図書館

【重点事業】市民や鎌倉にかかわる人にとって魅力ある蔵書づくり

2 資料と利用者のニーズを熟知した職員の育成

取組 3 資料と利用者のニーズを熟知した職員が継続してサービスを提供できるよう、必要な職員が配置される体制作りを目指します。

	令和5年（2023年）	令和6年度		
指標項目	実績	実績	自己評価	
職員の平均年齢	48.1	49.1	新規採用はなかったが、事務職司書の異動もなかった ので平均在籍年数は伸びた。 研修の受講数は減ったが、各自、自分に必要な研修を 自主的に受講する風土が出来つつある。 また、講師を務める機会が増えたことは、専門性が評 価された証である。世代交代の時期ではあるが、今後 も機会を捉えて継続していきたい。	A
職員の平均図書館在籍年数	16.2年	17.2年		
職員数（資料サービス担当）	18	18		
欠員数	1	1		
司書率	90%	90%		
受講研修内容	児童図書館員養成専門講座 読書バリアフリー関連の講 習等を多数受講 （別紙参照）	図書館司書専門講座、日本図書館 協会中堅職員ステップアップ研修 や、読書バリアフリー関連の講習 等を受講（別紙参照）		
研修講師実績	ボランティア養成講座や教 職員対象の研修講師のほ か、業務外で大学の司書課 程の講師を2校で務めた。	昨年度の実績に加えて、日本図書 館協会中堅職員ステップアップ研 修、図書館司書専門講座、関東甲 信越静地区別研修、神奈川県図書 館協会、長野県図書館協会の研修 で、講師を務めた。（別紙参照）		

【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

1 一人一人に合わせた資料の提供とその周知

取組1 大活字本、朗読CD、デージー図書、LLブック、マルチメディアデージー等の充実と利用促進を図ります。

指標項目	令和5年（2023年）	令和6年（2024年）	
	実績	実績	自己評価
大活字本所蔵点数	2351	2384	大活字本貸し出し点数については訂正し、朗読CDについてはコンピュータでの抽出ができず、昨年度の分も含めて削除する。 大活字本やLLブックのPRの効果か利用は伸びている。 マルチメディアデージーは施設へ貸出が行えた。 また、デージー図書の貸出は利用者の録音再生機器が故障したり、他機関から利用するようになったため、利用が減少した。 今年度から国立国会図書館から鎌倉市図書館が制作した音訳図書のダウンロードができるようになった。2075件ダウンロードされている。
大活字本貸出点数	1,757 2495	2959	
朗読CD所蔵点数	1,044(不明除く)		
朗読CD貸出点数	2,483		
デージー図書所蔵点数	511	664	
デージー図書貸出点数	87	66	
LLブック所蔵点数	141	155	
LLブック貸出点数	355	528	
マルチメディアデージー所蔵点数	17	63	
マルチメディアデージー貸出点数	0	5	

B

目標 2 誰もが使いやすい図書館

【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

1 一人一人に合わせた資料の提供とその周知

取組 2 多言語資料の収集に努めます。

指標項目	令和5年（2023年）	令和6年（2024年）		
	実績	実績	自己評価	
所蔵する資料の言語の種類数（日本語以外）	36→29	29	所蔵点数は増えているが、貸出点数は微減している。言語の種類数についてはコンピュータで抽出できるわけではないので、正確な数がとらえられない。指標として望ましくないか。	B
日本語以外の資料の所蔵点数	5573	5788		
日本語以外の資料の貸出点数	5424	5374		

目標2 誰もが使いやすい図書館

【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

1 一人一人に合わせた資料の提供とその周知

取組5 サピエ図書館の周知に努め利用促進を図ります。

	令和5年（2023年）	令和6年（2024年）		
指標項目	実績	実績	自己評価	
サピエ図書館利用数	114	69	他機関を通しての利用や、当事者の再生機器の故障等で貸出件数は微減している。また、今年度から国立国会図書館から鎌倉市図書館が制作した音訳図書のダウンロードができるようになった。2075件ダウンロードされている。サピエ図書館の検索結果でも表示されるため、市内の利用者から自宅でダウンロードできたという声をいただいている。	B
どのような周知を行ったか	図書館ホームページで周知 サピエ図書館のチラシの配布 市の障害者サービス新規登録者への声掛け	図書館ホームページで周知 サピエ図書館のチラシの配布 市の障害者サービス新規登録者への声掛け 地下道ギャラリーや図書館だよりでのPR	地下道ギャラリーなどで制度の紹介を見かけたという声をいただいております、館外へPRができた。	

目標2 誰もが使いやすい図書館

【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

2 各種電子サービス等デジタル環境の整備

取組2 鎌倉市にふさわしい博物館基本構想」の中でうたわれている将来的な「MLA 連携」を視野に入れた「デジタルアーカイブ」の発信と活用を促進します。

	令和5年度（2023年度）	令和6年（2024年）		
評価項目	実績	実績	自己評価	
デジタルアーカイブの発信と活用に向けて何を行ったか	所蔵の震災史料デジタル資料について、関東大震災100年を節目に、防災資料としての活用のため、国、県への情報提供を行った。 令和5年（2023年）3月に発行した『古都鎌倉へのまなざし』掲載写真データの活用による各地域での写真展等の開催に資料提供を行った。	令和6年度（2024年度）新規登録デジタル資料 写真191 絵葉書7 古絵図64 計262点 令和6年（2024年）12月末現在登録計1659点 各地域での写真展等への資料提供やテレビ雑誌等メディアでの活用を行った。令和6年（2024年）4月～12月末 計45件	デジタル化資料の登録によって、図書館ホームページやジャパンサーチから当館所蔵資料へのアクセスが容易になったことから、相談や問い合わせが市外からも多く寄せられるようになった。	A

目標2 誰もが使いやすい図書館

【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

2 各種電子サービス等デジタル環境の整備

取組3 図書館資料のデジタル化と公開を推進します。

	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)		
指標項目	実績	実績	自己評価	
デジタル化された資料点数	2436点	0	令和5年度（2023年度）事業でデジタル化した資料にタイトル等の情報を付け、図書館ホームページでの公開を進めた。写真資料1点ずつへのキーワード付与には郷土史の知識が必要であり、公開までに複数年度かかることがみこまれる。	A
デジタル化資料のホームページアップ点数	デジタル化資料の登録公開84点	デジタル化資料の登録公開262点（～2024.12.31）		
ジャパンサーチ閲覧件数	367件	329（～2024.12.31）		

取組4 新聞、百科事典などのデータベースの充実に努めます。

	令和5年(2023年)	令和6年(2024年)		
評価項目	実績	実績	自己評価	
データベース充実に向けて何を行ったか	情報収集を行った	国立国会図書館「歴史的音源の公立図書館等への配信提供サービス」参加（2024.9～）	レファレンス（調べもの案内）に活用できるツールの種類の幅が広がった。	A

目標2 誰もが使いやすい図書館

【重点事業】図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

2 各種電子サービス等デジタル環境の整備

取組5 電子書籍導入の検討を行います。

	令和5年度（2023年度）	令和6年（2024年）		
評価項目	実績	実績	自己評価	
どのような検討を行ったか	7月に電子書籍についての考え方をまとめた。 9月、市のシステム審査会に電子書籍導入について、趣旨は了承された（予算の裏付けはなく、補助金を取るなどが必要）。 TRC、オーバードライブ（TOHAN）からの情報収集に努めた。	主に情報収集を行った。	予算の裏付けや補助金の取得などができず、昨年度からめだった進展はない。	B

取組6 図書館ホームページ内で鎌倉に関する情報コンテンツの連携を検討します。

	令和5年（2023年）	令和6年（2024年）		
評価項目	実績	実績	自己評価	
どのような検討を行ったか	鎌倉学(市内5地域それぞれの地域資料)のパスファインダーの改訂に取り組んだ。リンク集の改訂を検討している。	鎌倉学(市内5地域それぞれの地域資料)のパスファインダーの改訂を行った。	システム更新を見据え、新たなコンテンツの連携を継続して検討していく。	B

協議会委員コメント

用語解説

【LLブック】

「やさしく読みやすい本」という意味のスウェーデン語（Lättläst）の略。文字情報を正確に読めない、読むことが苦手な人のために読みやすく書かれた本。幼児向けという意味ではなく、それぞれの生活年齢に合った内容がやさしく理解できるよう配慮されている。

【サピエ図書館】

日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っている図書館。会員登録することによりホームページから点字データ、デイジーデータをパソコンや携帯電話にダウンロードすることができる。また、加盟している図書館が所蔵する資料を、オンラインリクエストなどによって利用できる。

【ジャパンサーチ】

国会図書館がシステムを運営する、我が国の幅広い分野のデジタルアーカイブと連携し多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォーム。

【蔵書回転率】

図書1冊につき、1年間に何回貸出されたかを示す数値。 $\text{年間貸出冊数} \div \text{蔵書冊数}$ 。

【蔵書更新率】

資料の更新が1年間にどの程度されているかを示す数値。 $(\text{受け入れ冊数} + \text{除籍冊数}) \div \text{蔵書冊数}$ 。

【蔵書新鮮度】

1年間に蔵書がどれだけ新しくなっているかを示す数値。 $\text{新規受け入れ冊数} \div \text{蔵書冊数}$ 。

【大活字本】

弱視者（低視力者、高齢者など）にも読みやすいように、大きな活字で版を組みなおされた本のこと。

【デイジー図書／マルチメディアデイジー】

デイジー図書とは、CD-ROMなどに録音した図書のこと。通常の録音図書と違い、大量の情報を蓄積でき、読みたいページへのジャンプ機能がついているなど利便性が高い。

デイジーは専用の機器でしか再生することができないが、一般的な利用ができるようパソコンでの再生に対応したものがマルチメディアデイジーである。

文字・音声・画像を同時に再生でき、文字の大きさや読み上げるスピードの変更なども可能。どちらも印刷された文字を読むことが難しい障害をもつ人などの読書手段として利用される。

【デジタルアーカイブ】

文化資産をデジタル映像で保存蓄積するもの。鎌倉市図書館では近代史資料室の古写真や絵図、古地図等を順次デジタル化し、ホームページ上で公開している。

【やさしい日本語】

日本語に不慣れな外国籍の方や子供、障害者にも分かりやすく配慮した簡単な日本語。

【レファレンス】

調べごとや探しもののお手伝い。何らかの情報を求めている人に対し、図書館員がその回答や参考となる資料を紹介するなどして、利用者と必要な資料や情報との出会いを助けるサービス。

【レファレンス協同データベース】

国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している調べ物のためのデータベース。一般公開事例はだれでも閲覧できる。

外部研修への参加 令和 5 年度

読書バリアフリー法に基づく障害者サービス関連の研修や、児童図書館員養成専門講座等、スキルアップにつながる研修の受講に留意しました。

別途、業務外でも多くの職員が研修を受講し、自己研鑽に努めています。

実施日	題目	開催形式・会場	受講人数
令和 5 年 4 月 4 日 (火)～14日(金)	新採用職員研修（9 日間）	鎌倉市役所	2
5 月 10 日（水）	アンガーマネジメント研修	鎌倉市役所	3
5 月 22 日（月）	盲導犬ユーザー・視覚障害者の対応研修	鎌倉市役所	1
5 月 25 日（木）～ 6 月 29 日（木）	神奈川県市町村図書館等職員研修基礎（全 3 回）	神奈川県立図書館、 オンライン、資料掲 載型	2
6 月 22 日（木）	神奈川県市町村図書館等職員研修（専門） 「デジタルインクルージョン政策の動向と公共図書館の役割」	神奈川県立図書館	2
6 月 25 日（月）～ 7 月 1 日（土）	児童図書館員養成専門講座（前期）	日本図書館協会	1
7 月 5 日（水）～ 7 日（金）	新採用職員中間研修（3 日間）	鎌倉市役所	2
8 月 1 日（火）～ 10 月 1 日（日）	特別研修「読書のバリアフリーをすすめるために」	配信	10
8 月 5 日（土）	図書館員・音訳者のための著作権セミナー	オンライン	1
8 月 9 日（水）	令和 5 年度生涯学習指導者研修「読書活動実践コース」	神奈川県立図書館	1
9 月 2 日（土）	多文化対応力向上講座 図書館編	オンライン	2
9 月 13 日（水）	市町村図書館等職員研修〈専門研修②レファレンス 理工系〉	神奈川県立川崎図書館	1
9 月 13 日（水）	障害者の対応のポイント研修	鎌倉市役所	1
9 月 25 日（月）～ 10 月 4 日（水）	児童図書館員養成専門講座（後期）	日本図書館協会	1
9 月 26 日（火）～ 27 日（水）	情報発信力向上・SNS活用講座	市町村振興協会研修 センター	1
10 月 3 日（火）～6 日 (金)	新採用職員追研修（4 日間）	鎌倉市役所	2

10月24日（火）	神奈川県図書館協会第 2 回研修会 図書館総合展 フォーラム（ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeafの活動について）	パシフィコ横浜	1
10月31日（火）	きこえにくい方への対応ポイント	深沢支所	2
11月17日（金）	「多文化対応力向上」研修講座	神奈川県市町村振興 協会研修センター	1
11月21日（火）	神奈川県図書館協会第 4 回職員研修会（子どもの本の 紹介文の書き方）	神奈川県立図書館	1
11月28日（火）～ 30日（木）	国立国会図書館 障害者サービス担当職員向け講座	オンライン	1
12月 7 日（木）	国立国会図書館 レファレンスサービス研修（人文 情報の調べ方）	オンライン	1
12月8日（金）	神奈川県図書館協会第 5 回職員研修会（図書館にお ける「読書バリアフリー」の推進に向けて）	オンライン	2
10月16日（月）～ 12月15日（金）	図書館等職員著作権実務講習会	講義は配信、試験は 一橋大学	1
12月25日（月）	読書バリアフリー法の理解と実践	配信	1
令和6年1月10日 (水)、11日(木)	新採用職員総括研修（2 日間）	鎌倉市役所	2
1 月19日（金）	「多文化対応力向上」研修講座	神奈川県市町村振興 協会研修センター	1
2 月20日（月）	神奈川県図書館協会第 6 回職員研修会（京橋図書館 見学）	京橋図書館	1
計			48

外部研修への参加 令和 6 年 1 月～12 月

読書バリアフリー法に基づく障害者サービス関連の研修や歴史資料の取り扱いに関する研修、図書館司書専門講座、日本図書館協会中堅職員ステップアップ研修等専門的な研修の受講等、スキルアップにつながる研修の受講に留意しました。

実施日	題目	主催・会場等	受講人数
令和6年1月10日 (水)、11日(木)	新採用職員総括研修（2日間）	鎌倉市役所	2
1月19日（金）	「多文化対応力向上」研修講座	神奈川県市町村振興協会 研修センター	1
2月20日（月）	神奈川県図書館協会第6回職員研修会（京橋図書館見学）	京橋図書館	1
6月3日（月）～ 4日（火）	公務員2年目能力・意欲向上研修 （2日間）	鎌倉市役所	2
6月6日（木）～ 19日（水）	図書館司書専門講座（10日間）	国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 集合+オンライン	1
6月28日（金）	ハラスメント防止研修	鎌倉市役所	1
7月5日（金）	多言語対応絵本 試験実施報告会 ～考えてみよう。外国人親子に「絵本」でできること～	NPOブックスタート	1
8月6日（火）	現金分任出納員研修	鎌倉市役所	1
8月7日（水）	令和6年度生涯学習指導者研修 「読書活動実践コース」第2回 YA世代に届く本の差し出し方	神奈川県立図書館 オンライン	1
8月19日（月）～ 23日（金）	令和6年度アーカイブズ研修Ⅰ（5日間）	国立公文書館	2
8月28日（水）	令和6年度生涯学習指導者研修 「読書活動実践コース」第3回 ストーリーテリング	神奈川県立図書館	2
9月3日（火）～ 4日（水）	ロジカルシンキング研修（2日間）	鎌倉市役所	1
9月6日（金）	令和6年度神奈川県内公共図書館等障害者サービス実務担当者会議「サピエ図書館の検索とプレクストークの使い方について」	神奈川県ライトセンター	2
9月26日(木)	令和6年度 第1回神奈川県図書館協会職員研修会「東京大学総合図書館見学会」	神奈川県図書館協会	1
10月3日（木）	神奈川県図書館協会地域資料委員会研修会（地域資料のデジタル化とアーカイブ構築）	神奈川県立図書館	2

10月28(月)～12月10日（火）	中堅職員ステップアップ研修(1) (2時間30分を12コマ)	日本図書館協会 オンライン	1
11月 6 日（水）	行政課題等研修「市民協働研修」	鎌倉市役所	1
11月8日(金)	埼玉県地域史料保存活用連絡協議会設立 5 0 周年 記念シンポジウム「地域資料のこれまでとこれから」	埼玉県地域史料保存活用 連絡協議会	1
11月29日(金)	神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会令和 6 年度 第 1 回研究会「藤沢市文書館見学」	神奈川県歴史資料取扱機 関連絡協議会	1
11月10日（日） ～24（日）	令和6年度藤沢市史講座「藤沢市文書館 開館 5 0 周年を記念して」（3 日間）	藤沢市文書館	1
11月11日（月）	障害者差別解消法研修	鎌倉市役所	1
11月12日（火） ～13日（水）	障害者サービス担当職員向け講座	国立国会図書館 オンライン	1
11月14日（木）	障害者サービス担当職員向け体験講座	日本図書館協会 オンライン	1
11月29日(金)	神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会令和 6 年度 第 1 回研究会「藤沢市文書館見学」	神奈川県歴史資料取扱機 関連絡協議会	1
計			26

業務外でも以下のような研修を受講しています。

題目	主催・会場等	受講人数
児童図書館研究会全国学習会広島学習会	児童図書館研究会	1
図書館の自由に関する宣言70周年記念講演会「憲 法学者からみた『図書館の自由』」講師：木村草 太氏	日本図書館協会 図書館 の自由委員会	1
「公共施設等総合管理計画と図書館」 講師：松 本直樹氏（慶應義塾文学部人文社会学科（図書 館・情報系）教授）	図書館問題研究会神奈川 支部	5
特別研修「読書のバリアフリーをすすめるため に」	公益財団法人伊藤忠記念 財団 オンライン	1
障害者サービス担当職員養成講座（入門）	日本図書館協会 オンライン	1
埼玉県地域史料保存活用連絡協議会設立 5 0 周年 記念シンポジウム「地域資料のこれまでとこれから」	埼玉県地域史料保存活用 連絡協議会	1
全国図書館大会長崎大会	日本図書館協会ほか オンライン	2
計		12

講師等の実績 令和 5 年度

知識や経験を共有・継承するために、講師等を務めることも研修の一環としてとらえています。

業務外での実績も含みます。

実施日	題目	開催形式・会場等	担当人数
令和 5 年 4 月～7 月	清泉女子大学司書課程「情報サービス論」（全13回）	清泉女子大学	1
6 月 25 日（日）	先進都市の図書館視察について	中央図書館	1
7 月 28 日（金）	教職員研修 図書館の自由	中央図書館	1
7 月 28 日（金）	教職員研修 著作権	中央図書館	1
7 月 28 日（金）	教職員研修 鎌倉の調べ方	中央図書館	1
令和 5 年 9 月～令和 6 年 1 月	相模女子大学司書課程「児童サービス論A・B」（全15回×2）	相模女子大学	1
令和 5 年 10 月 5 日（木）～11 月 2 日（木）	おはなしボランティア養成講座（全 4 回） （絵本の読み聞かせ 紙芝居 ストーリーテリング パネルシアター わらべうた 読み聞かせの講評）	深沢学習センター	6
11 月 7 日（火）	学校図書館ボランティア向け 読み聞かせ講習会	第一小学校	2
令和 6 年 1 月 17 日（水）	学校図書館部会 絵本の読み聞かせ、ブックトーク	小坂小学校	2
計			16

* その他、藤沢市図書館協議会委員 1 名

講師等の実績 令和6年1月～12月

知識や経験を共有・継承するために、講師等を務めることも研修の一環としてとらえています。

業務外での実績も含みます。

実施日	題目	開催形式・会場等	受講 人数	担当 人数
令和6年1月17 日（水）	学校図書館部会 絵本の読み聞かせ、ブック トーク	小坂小学校	—	2
4月～7月	清泉女子大学図書館司書課程 情報サービス論 （全13回）	清泉女子大学	38	1
6月12日（水）	図書館司書専門講座 シンポジウム「図書館の 可能性を探る～図書館は地域住民の学習をどこ まで支援できるか～」登壇	オンライン	68	1
6月18日（火）	令和6年第1回学校図書館専門員及び読書活動 推進員研修会「鎌倉市図書館のサービスについ て」	鎌倉生涯学習センター	25	1
令和6年9月～ 令和7年1月	相模女子大学図書館司書課程 児童サービス論 （全15回×2）	相模女子大学	32	1
令和6年10月3 日（木）	神奈川県図書館協会地域資料委員会研修会 事例発表「鎌倉市の郷土資料のデジタルアーカ イブ」	神奈川県立図書館	23	1
10月11日 （金）～11月1 日（金）	おはなしボランティアステップアップ講座（全 4回）	深沢学習センター	159	8
11月7日（木）	装備・修理講座	第二小学校	10	2
11月22日（金）	令和6年度長野県公共図書館館長研修会 基調講演 これからの地域図書館に求められる こと：居場所として・地域活動の伴走者として	県立長野図書館	50	1
12月10日（火）	公益社団法人日本図書館協会 2024年度中堅 職員ステップアップ研修（1）「図書館の自 由」	日本図書館協会	38	1
12月11日（水）	令和6年度関東・甲信越静地区図書館地区別研 修 事例報告「地域の資料を守る、繋げる」	神奈川近代文学館	66	1
計			509	20

鎌倉市図書館協議会における施設整備の検討経過

日時等	議題	主な意見等
令和4年度第2回 令和4年11月28日(月) 9:00～11:00	「令和4年度市議会9月定例会における図書館関連質問について」	・鎌倉市新庁舎等整備基本計画（素案）の作成にあたってはどのような調整を行ってきたのか ・新図書館の面積は530㎡で、現在の深沢図書館の820㎡から大きく減っている。どのように工夫して図書館の機能を維持や充実をしていくのか。
令和4年度第3回 令和5年2月27日(月) 14:30～16:30	図書館の施設整備について（報告事項） ・令和4年12月市議会定例会について	・令和4年12月市議会定例会において、市役所の位置を定める条例が否決された。 ・視察報告（福島県須賀川市、白河市、栃木県那須塩原市、横浜市会図書室、東京都武蔵野市、大和市）
令和5年度第1回 令和5年8月1日(火) 9:30～11:10	図書館の施設設備について（報告事項） ・鎌倉市新庁舎等整備基本計画 ・鎌倉市市庁舎現在地利活用基本構想	・同規模の他市の図書館で参考になる事例を見つけてほしい。 ・市民と一緒に創りあげる図書館、という構想はあるのか？ ・複合施設も大切だが、図書館本来の機能をどの程度維持できるのかが重要。
令和5年度第2回 令和5年11月29日(水) 9:00～11:00	図書館の施設設備について（協議事項） ・鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画の中間とりまとめ	・既存施設の活用に具体案はあるのか？→新築か改築の結論が出ていないため、両論併記している。 ・新たに整備するなら、新施設を新築した方がよいと思う。 ・学校図書館や学校と図書館の連携や子どもの居場所に配慮してほしい。 ・職員の意見も十分に取り入れることが、利用者のためになると思う。
令和5年度第3回 令和6年2月29日(木) 14:00～15:25	図書館の施設整備について（協議事項） ・鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画の素案	・どういう図書館にするか、話し合いの場に、今の小学生、中学生、高校生も参加できるようにしてほしい。 ・パブリックコメントは取りまとめが終わったら、情報共有してほしい。
令和6年度第1回 令和6年5月23日(木) 10:00～11:30	図書館の施設整備について（協議事項） ・協議の進め方について ・電子書籍について	・「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画プラン1.0」の説明 ・大学図書館でも電子書籍を積極的に導入したが、紙の本の代替えにはならず、あくまでもサブの位置であった。 ・学校教育でも電子書籍を導入してよいもの、いけないものを吟味する必要がある。 ・紙の本の楽しさ、重要性も伝えていってほしい。
令和6年度第2回 令和6年8月8日(木) 14:00～15:45	図書館の施設整備について（協議事項） ・読書バリアフリーについて	・障害者への郵送サービスの在り方について。 ・障害者ではないが、図書館へ行きづらい人への（郵送）サービスについて。 ・読書バリアフリーにおける学校図書館との連携について。
令和6年度第3回 令和6年11月22日(金) 14:55～16:30	図書館の施設整備について（協議事項） ・新図書館に求める機能について	・子どもの読書の拠点の機能は引き続き維持してほしい。 ・飲食やグループで話ができるスペースもあるとよい。 ・子供の居場所となる児童館的要素があると楽しめると思う。

新深沢図書館について（案）

新深沢図書館は、誰もが居心地の良い図書館を目指しています。にぎわいも、静寂も、くつろぎも、一緒に楽しむ親子も、集中したい学生も、のんびりしたい大人も、ゾーンを分けてみんな快適に過ごせる図書館をつくります。

- ・「協議会」は図書館協議会で、「子読」は子ども読書活動推進計画に関する連絡会議で、「身障協」は身体障害者福祉協会から、それぞれ出された意見です。これらの意見を踏まえて図書館としての提案を作成しました。
- ・現段階では、基本設計にかかわりが深い意見を中心に記載しています。設備や什器の機能等で実現できる部分については、今後も検討を重ねてまいります。
- ・この色に着色した部分は、図書館エリアの外で整備することを基本に検討しています。

		面積			必要な機能
子どもの居場所や子ども読書活動支援	エリア名	既存			
	児童コーナー	126		書架	・絵本2段、他は4段までで現状の収容力を確保。棚板を可動式とし、絵本棚については棚上部に絵本を面出しできる展示スペースがある本棚を入れるなどして柔軟な運用をする。（子読・協議会） ・【本（1段40冊）】 4段×5連×両面 6本（9,600冊） ・【絵本（1段70冊）】2段×5連×両面 7本（9,800冊） ・児童用低テーブル・子ども用のベンチ・ソファ等をコーナー内に設置。（子読・協議会） ・穴倉に入り込んで本を読んだり、読み聞かせが出来るスペース（子読） ・児童コーナーはカウンターから近く、なるべく死角が少ない職員の見通しがきく位置希望。死角になる場所には、ミラーの設置などで防犯に配慮。 ・子ども用カウンターを設置し、子どもの読書活動をサポートできるよう「こどもほんしえるじゅ」の活動場所をつくる。（子読・協議会）
				おはなしのへや	・靴を脱いで入ることのできるコーナー、子どもが寝転んで本が読めるスペースとする。（子読）床の色を変えるなど、エリアがはっきりわかるようにする。 ・おはなし会で大人・子ども合計30人が床に座れる書架のないスペース（30㎡）を確保。おはなし会の時には仕切ることができるように。（子読・協議会） ・靴を脱いで利用するため、直に座っても冷たくない衛生的な材質を希望（じゅうたんは衛生面で問題があるため不可）例えば床暖房付きのフローリング等など、床はあたたかみがあって掃除しやすい材質が良い。
	YAコーナー	20			・現在の資料5,000点を収納できる棚。 ・グループ学習席(4～6名程度想定)×2組 個人席10人分などが図書館の近くにあると良い。（子読）
	書庫（主に学校支援）	194			・閉架児童12,000点、学校貸出10,000点、その他新聞・雑誌など閉架保存資料も含め、今後増加を視野に入れ25,000点の収納能力（子読） ・一部を電動ではなくハンドル式の集密書架にし、10,000～15,000点程度収納を確保 ・学校図書館と連携のための関係者の選書スペース兼、職員作業スペース（子読・協議会） ・車への搬出入が便利かつ事務室に近接していること ・書庫にも空気清浄機だけでなく、温湿度が管理できる空調が必要（現状は空気清浄機のみ）
従来の機能の拡充・新たな機能の導入	一般コーナー	317		書架	・地震の揺れで書架から資料が大量に落下したり、書架が倒れたりしないよう利用者の安全対策として、作り付けは耐震（免震）仕様、図書館専用品を使用した場合は耐震工事を希望 ・蔵書約46,000冊（現状と同等維持）が収容できる書架に本の面出しやおすすめ本コーナーなど利用者にアピールできるスペースのある書架。（協議会） ・カウンターから室内が見渡せるような書棚の配置 ・書架は、バリアフリーの観点から車いす利用者でも手が届く高さ(5段×4連書架 両面 31本)と収容量を両立させるため、直線的かつ平行に配置する。通路の幅は150cmを基本とする。（子読・協議会・身障協）
				閲覧席（一般）	・図書館内外に現状と同じように書架の側に椅子を点在させるなどで現状と同程度（24席）とし、施設全体で閲覧席を増加させる。
	バリアフリー対応	0			バリアフリー対応機能として、音声読書器や拡大読書器を設置できるスペースを確保。入り口から便利な場所、かつプライバシーに配慮した場所。点字ブロックなど視覚障害者を歩行誘導するものを設置。（身障協）
	郷土・参考コーナー	10			・書架とデータベース利用席が必要。
	静読室	0			・10人分程度の個席（協議会） ・静けさを求める利用者のため防音機能がしっかりとしていることが必要だが、外から中が見えるように間仕切りは上半分を防音ガラスに ・独立した空調が可能なように。(換気、温湿度調整)
	展示スペース・研究席	10			・書架以外に研究席(個人席)、グループ研究席が必要。（協議会） ・展示スペースは図書館内には確保しないが、関連資料などは図書館内の特集コーナーなどで展開する。
	AVコーナー	10			・資料費での購入も増加見込みも少なく、また今後配信サービスなど音楽・映像資料の提供方法変更の可能性も検討することとし、AVコーナー設置不要と考えます（協議会）
	利用者端末（セルフ貸出機兼用）	3			・図書館エリア内では、既存と同程度の一般コーナー3台、児童コーナー1台の設置する場所を確保。 ・セルフ貸出機兼用なので、入力用キーボード・プリンターの設置台だと手狭なので、セルフレジのように利用者が貸出する資料などを一時的に置ける台が必要 ・図書館エリア外の、施設の出入り口付近に、ICタグを活用した資料の不正通過を防ぐシステム及びセルフ貸出機の設置が必要。
	予約受け取り	0			・図書館エリアの外で、休館日も受取可能な場所に設置 ・予約資料の搬入出があるため、図書館エリアの近くに設置希望

機能の見直し	室				・セルフ貸出機兼用なので、入力用キーボード・プリンターの設置台だと手狭なので、セルフレジのように利用者が貸出する資料などを一時的に置ける台が必要
	カウンター内	18		カウンター	・カウンターは図書館全体が見通しが効き、事務室、閉架書庫へアクセスしやすい場所へ配置。小型化し、両側からフロアへの出入りが可能。
				予約棚	予約受取室で受け取れない（相互貸借など）特別な本の置き置き用
				事務用品棚	予約棚の下部を活用。
				システム配線	・事務処理が滞りなくできるよう、図書館システム及び行政端末用の配線が必要。
	雑誌・新聞コーナー	42			・（新聞雑誌）図書館エリアの外に設置 閲覧は共用スペースで。 ・雑誌80タイトル収納架、新聞10紙収納架、新聞バックナンバー1か月分が置ける棚
	インターネットコーナー	2			・建物全体がフリーWi-Fi設置を前提として、貸出用タブレットなどを用意。（協議会）
	事務室	68		事務用書架 巡回車荷物置き場 打ち合わせスペース 職員休憩スペース	・カウンターと隣接し、カウンターから事務室への出入口があると良い。図書館は個人情報の取り扱いや事務処理上の機密情報もあるため、事務室内で業務を行う必要があるが、トラブルなど利用者対応に速やかに対応することが求められるため。 ・電話対応や打ち合わせ等での個人情報の扱いや、荷物の搬入等があるため、外へ音漏れがしにくい壁の構造を希望。 ・受入れ前の購入資料や寄贈資料等を置く集密書架（ハンドル式） 6段×2連×両面 の書架 現状12本 ・現在370cm×80cm、動線注意、巡回車の荷物を毎日スムーズに出し入れできる必要がある。 ・ボランティアや関係者の打合せスペース。（子読）4~6名程度で使えるテーブル、椅子。 ・2~3名で利用できるテーブル、椅子。 職員が最大限に能力を発揮するためには、休憩スペースが必須。（協議会）
					・西側の開口部には、遮光・遮熱の工夫し採光に配慮する。建物内部も遮光・遮熱に配慮するが、メンテナンスに配慮したものにする。（子読） ・資料や備品の劣化を避けるため、建物外部の庇やUVカットガラスなどで直射日光の影響を受けないような書架配置 ・開放できる窓がある場合は、虫対策・防音対策が必要。
					・書架下段まで十分に照明が届く照度を確保する。メンテナンスもしやすいよう高い天井でなく書架に照明器具を設置するなど工夫を。
					・白めの明るい色調、汚れにくいもの、心を静める色合い。 ・壁面を活用した掲示・展示スペースの設置（図書館のお知らせ、PRなど。1～複数箇所） ・隣が消防署のため防音を考慮。
	床				・汚れにくく、滑りにくく、掃き掃除のしやすい材質。足音がひびきにくいもの（じゅうたん不可） ・建物入口～図書館入口～カウンターまで、点字ブロックなど視覚障害者を人のいるところまでつなぐよう歩行誘導するものを設置。（身障協）
	電源				・館内のテーブル席・閲覧席で利用者が自由に使える電源の確保。
	返却ポストの設置場所				・建物外から返却できるように。（作り付けかあるいは移動式。）
	巡回車の駐車場所				・開館日にはほぼ毎日巡回車が運行している。共用エリアを通らずに事務室に荷物を運びこめる動線。雨の日でも配送資料を濡らさずに搬送できる庇または屋根のある場所に車を駐車できるようにしたい。
	合計	820			

図書館全体的な要望と提案
・カウンターから死角になってしまう場所に防犯対策としてミラー設置
・今後の図書館の検討に、小中高校生を参加させてほしい（協議会）
施設全体に向けた要望と提案
・一般のトイレは男女ともにおむつがえ、ベビーキーパーを設置（子読）
・トイレを多めに。図書館の児童コーナーに近い共用スペースに子ども用トイレ設置（子読）
・庁舎内に託児スペース希望（子読）
・手荷物ロッカーの設置（協議会）
・深沢地域の文化財の展示コーナーを設置（文化財課）
・庁舎内に対面朗読（防音 外から見えるよう上半分ガラス）に使用できる個室。相談室等と兼用可。（身障協、鎌倉朗読録音奉仕会）
・防音設備のある録音室。施設内の他の機能と共用可。（身障協、鎌倉朗読録音奉仕会）
・モノレールから施設の入り口までの点字ブロックなど視覚障害者を歩行誘導するものを設置。（身障協）
・歩行誘導ブロック等は歩行しやすいよう設置するとともに、床と異なった色にし、視認性を確保。また、図書館のみならず、施設内の主要な場所へ誘導できるよう設置。（身障協）
・施設の入口やトイレの入口への音声案内。（身障協）
・男性用トイレの入り口近い小便器に介護用手すり、点字ブロック等の設置（身障協）
・聴覚障害者のため、お知らせ用電光掲示板、地震時に点滅するランプ。
・聴覚障害者のため、階段の踊り場への鏡などの設置。
・視覚障害者（弱者）や色覚障害者のために、階段の段鼻の色と踏板を異なる色にし、視認性を確保。（身障協）
・磁気ループ（補聴器の感度をよくするシステム） 図書館カウンター周り、総合案内にも必要。

これからの図書館のあり方について

- 1 読書バリアフリーに対応する設備（令和6年度第2回 協議済み）
障害のある人もない人も共に心地よく図書館を利用できるようにするための機能や設備。
- 2 新図書館に求める機能（令和6年度第3回 協議済み）
基本計画には描き切れていない新図書館に必要とされる機能。
- 3 地域館の在り方
公共施設再編計画では、地域拠点校ができる際には複合施設の一部として図書館機能も入ることとされている。しかしながらその時期は未定であり、当面は現在の地域館の体制が続くと推察される。常に未来につながる図書館を検討していく中では、地域館における基本的な機能に加え、地域との連携やそれぞれの役割、それぞれの地域館ならではの特色といったものを描き実現していく必要がある。
- 4 運営体制
常に未来を見据え、持続可能な図書館運営について考える必要がある。
- 5 電子書籍（令和6年度第1回 協議済み）
外出が困難でも在宅で利用できる図書館、子ども読書の推進の観点からの学校との連携など、メリット、デメリットについて考える必要がある。
- 6 蔵書数
利用者ニーズにこたえるための目標値。電子書籍が導入された場合でも、基本的な資料は残す必要があると考えた場合の蔵書数と保管場所。

協議をまだ行っていない「3 地域館の在り方」「4 運営体制」「6 蔵書数」については、協議事項のなかで引き続き協議するとともに、今回の諮問の「第5次鎌倉市図書館サービス計画の諮問について」の答申を得たのちに、改めて諮問していく予定である。

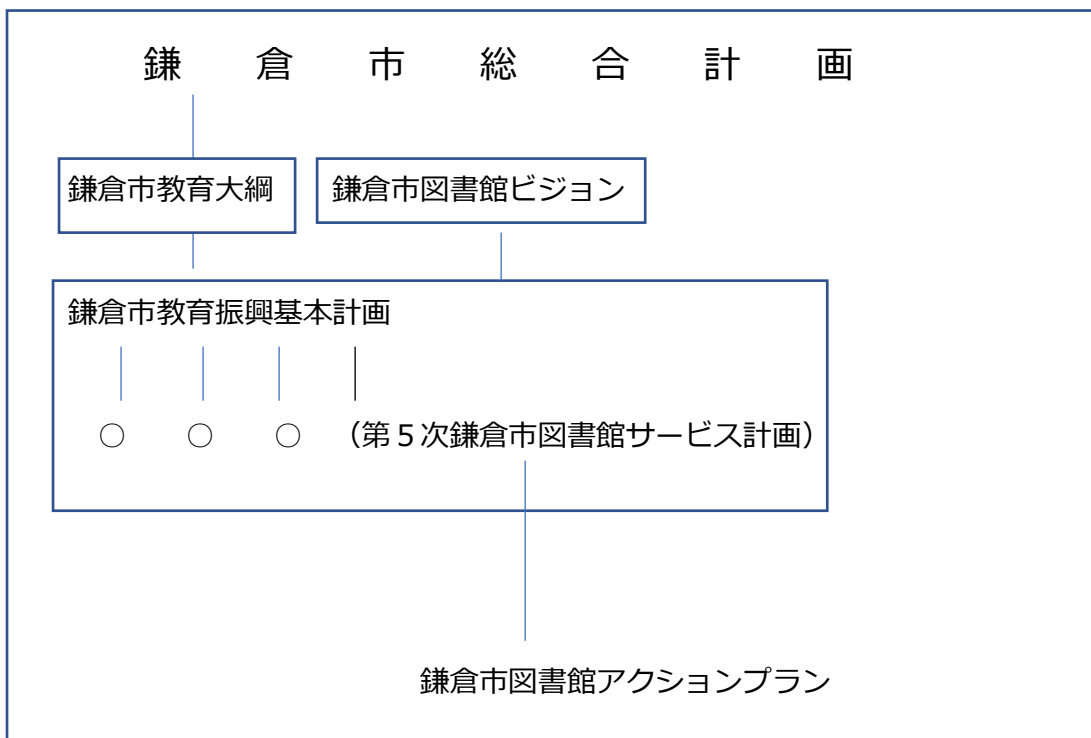
第5次鎌倉市図書館サービス計画

1. 計画策定の趣旨

鎌倉市図書館では、図書館ビジョン「つながる・ひろがる・100年図書館」にもとづき市民の読書や研究活動を支援し、市民の一番身近な情報拠点となることを目指し取り組んできました。令和8年（2026年）3月に第4次鎌倉市図書館サービス計画終了に当たり、図書館サービスのさらなる充実に向けて第5次鎌倉市図書館サービス計画（以下、第5次計画という）を策定するものです。

2. 計画策定の位置づけ

この計画は、図書館法第7条の2に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）のもと、鎌倉市総合計画を上位とし、「鎌倉市教育大綱」「図書館ビジョン」を踏まえ、「鎌倉市教育振興基本計画」の中に「第5次鎌倉市図書館サービス計画」を理念として含めます。サービス計画の詳しい内容は「鎌倉市図書館アクションプラン」を作り、令和元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（以下「読書バリアフリー法」）に基づく「読書バリアフリー推進計画」の内容を包括して策定します。



3. 第4次鎌倉市図書館サービス計画のこれまでの成果と課題は以下の通りです。

【成果】

- ・中央図書館への Wi-Fi 導入／業務システム更新による利便性の向上
- ・写真展の開催及び写真集の発売による近代史資料室の調査結果の市民への還元
- ・ジャパンサーチへの参加
- ・バリアフリー資料の PR と利用の促進

【課題】

・バリアフリー資料の収集が十分でない／各種電子サービス等デジタル環境の整備が中途／電子書籍が未導入。

4. 以上を踏まえ、第5次計画の基本方針は以下の通りとします。

第5次鎌倉市図書館サービス計画基本方針

1 読書バリアフリーサービスの充実

- ・図書館を利用しづらい人へのサービスの周知に努めます
- ・アクセシブルな資料の充実に努めます。
- ・当事者のニーズを把握し、それぞれに合わせたサービスの拡充に努めます。
- ・誰にでも使いやすい図書館づくりに努めます。
- ・読書バリアフリーサービスに精通した人材の育成に努めます。

2 知識や情報のハブとなる図書館サービス

- ・市民のニーズに合った蔵書を充実させ、生涯学習や日々の暮らしを支えます。
- ・電子書籍等、それぞれの立場から使いやすいデジタル環境の整備を検討します。
- ・まちの記憶の保存庫として過去と現在の情報を収集、保存、発信します。
- ・司書職の継続的な採用を目指し、人と情報を結ぶ人材を育成します。

3 鎌倉の魅力を集積し発信する図書館へ

- ・新深沢図書館の必要な機能の実現に向けて関係部署と協力し尽力します。
- ・新中央図書館に向けて必要な機能をまとめ調整します。